

# 環境特集

## 地球が危ない

環境保全シンボルマーク



### 地球規模で考え 地域から行動

環境問題といいますが、公害を連想します。一般に公害と呼ばれているものは、①大気汚染②水質汚濁③土壌汚染④騒音⑤振動⑥地盤沈下の悪臭の7つがあります。これらの公害については、行政による規制・監視が行われていますが、最近では、⑧自動車排気ガスの窒素酸化物の削減⑨家庭から

生活雑排水による河川の有機性汚濁の防止なども大きな課題となっています。ところで、最近ではこれらの公害に加えて地球環境問題がクローズアップされています。地球環境問題とは、その影響が1国内にとどまらず、国境を越え、ひいては地球規模にまでひろがる環境問題及び、日本などの先進国も含めた国際的な取組が必要とされる開発途上国における環境問題のことをいいます(表1参照)。

その特徴として、被害が長期にわたり徐々に発生するため、生活雑排水などに取り込まれ、いつか被害が発生するに元に戻すことがむずかしいなどがあげられます。したがって、わたしたちが環境問題を考えてとき、将来の世代のことも考え、地球規模の環境を視野に入れて、行政・企業・市民がそれぞれの立場で環境を悪化させないような工夫をしていくことが大切です。

そこで、海老名市におきましても、平成5年3月に「海老名市地球環境保全行政施策指針」を作成して、取組を進めている

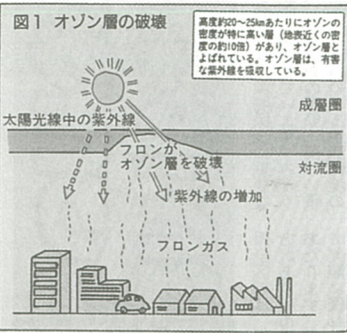
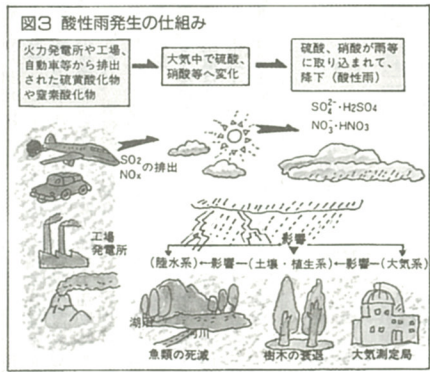


表1 地球を取り巻く環境問題

種類	原因	私たちに与える影響	対策
オゾン層の破壊	フロンガスの大気中への放出(冷蔵庫、クーラー、電子部品の洗浄剤などに使用)	地上への紫外線増加 →皮膚がん・白内障の増加や農作物への悪影響	フロン使用製品を捨てるときは、フロンガスを回収する
地球の温暖化	大気中の二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素の増加	地球全体の気温上昇(2000年では現在より1.5~3.5度上昇) →水の融解による海面上昇や干ばつによる農業への悪影響	石炭や石油などの燃料の燃焼(工場、自動車、発電所など)を極力減らす 省エネ型ライフ二酸化炭素の吸収源を増やす
酸性雨	大気中への硫黄酸化物(SO <sub>x</sub> )、窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )の放出	樹木の衰退や魚類への悪影響	石炭や石油などの燃料の燃焼(工場、自動車、発電所など)を極力減らす
熱帯林の減少	商業用の伐採、薪の採取、焼畑農業など(毎年日本のほぼ半分の面積の熱帯林が削減)	現地での洪水発生 大量の野生生物種の絶滅 地球の温暖化に拍車	熱帯材型枠の使用削減など熱帯木材使用(輸入)抑制 開発途上国への経済援助
砂漠化	自然的要因の他に、無理な放牧や耕作など(毎年九州と四国を合わせた面積が砂漠化)	現地での飢饉 長期的な気候変動による農業や水資源への悪影響	開発途上国への経済援助
野生生物種の減少	熱帯林の急激な減少 乱獲	熱帯林の保全 毛皮、ハンドバック、ペットなどの輸入抑制	
海洋汚染	河川からの有機物や有害物質の流入 船舶や海底油田からの油の流出 有害物質の海洋投棄	海洋生物への悪影響 漁業や食生活への悪影響	河川や海へゴミを捨てない 家庭の生活雑排水に対する配慮 有害物質に対する監視、規制
有害廃棄物の越境移動	廃棄物の増大による処分場不足 廃棄物処理費用の国による格差	有害廃棄物の不十分な処理による健康や環境に対する悪影響	廃棄物の発生抑制 自国における適正な処理
開発途上国の公害問題	工業などの経済の高度化及び人口の都市集中 不十分な公害対策	現地での公害発生 輸出物の再染(農産物など) 酸性雨	公害対策における協力、援助



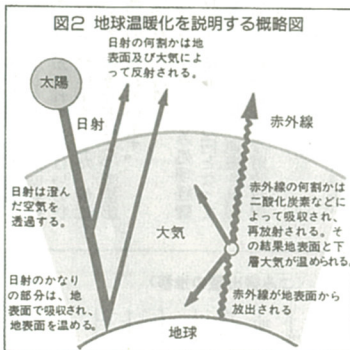
②このみの減量化により、ゴミの焼却に伴う汚染物質や二酸化炭素、地球温暖化の原因の排出を抑制することができ、また、新規発電所の建設を控えることにより自然環境の保全ができます。

③ゴミの再資源化により、アルミ缶などの生産に必要な電力を節約でき、省エネにつながります。また、紙の原料である木材の節約は、森林保全につながり、自然環境の保全にもつながります。

④水道水の生成や下水処理においては、多量の電気が使用されていますので、節水・水の再利用や生活雑排水への配慮は、省エネにつながります。また、新規ダム等の建設を控えることにより自然環境の保全ができます。自

⑤みどりの保全と創造は、自

以下、取組例として①みどりの保全と創造②ゴミの減量化と再資源化③河川の水質調査と浄化④低公害調子モデル都市事業⑤太陽光発電システム⑥環境学習を紹介するとともに、市内各種団体の取組についても紹介したいと思います。



環境分野における国際協力の推進	環境と共生する社会システムづくり	環境に配慮したまちづくり	環境保全型ライフスタイルの定着化	方向
① 海外進出に際しての環境配慮	① 高炉セメントI 従来使用していたセメントを高炉スラグ(全量を精製するときにできるカス)を混ぜ合わせてきたセメントを高炉セメントとします。今までは高炉スラグは、不用品として捨てられていましたが、技術開発により再利用が図られました。	① 環境共生型住まい・オフィスづくり	① 省エネルギー型のホーム・オフィスライフ	行動原則
② 森林資源の保護対策	② エコビジネスの推進	② 環境に配慮した都市基盤整備	② ゴミの減量化	取組
③ 環境保全技術の移転	③ 環境マネジメントシステムの確立	③ 都市のみどりづくり	③ ゴミの再資源化	組み
④ 海外進出に際しての環境配慮	④ 環境マネジメントシステムの確立	④ 環境に配慮した都市基盤整備	④ 自動車の走行に配慮	み
⑤ 海外進出に際しての環境配慮	⑤ 環境マネジメントシステムの確立	⑤ 環境に配慮した都市基盤整備	⑤ 節水・水の再利用	例
⑥ 海外進出に際しての環境配慮	⑥ 環境マネジメントシステムの確立	⑥ 環境に配慮した都市基盤整備	⑥ 排水に配慮	
⑦ 海外進出に際しての環境配慮	⑦ 環境マネジメントシステムの確立	⑦ 環境に配慮した都市基盤整備	⑦ 公共下水道の整備	
⑧ 海外進出に際しての環境配慮	⑧ 環境マネジメントシステムの確立	⑧ 環境に配慮した都市基盤整備	⑧ 学校の特別活動、稚魚の放流	
⑨ 海外進出に際しての環境配慮	⑨ 環境マネジメントシステムの確立	⑨ 環境に配慮した都市基盤整備	⑨ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
⑩ 海外進出に際しての環境配慮	⑩ 環境マネジメントシステムの確立	⑩ 環境に配慮した都市基盤整備	⑩ 公共下水道の整備	
⑪ 海外進出に際しての環境配慮	⑪ 環境マネジメントシステムの確立	⑪ 環境に配慮した都市基盤整備	⑪ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
⑫ 海外進出に際しての環境配慮	⑫ 環境マネジメントシステムの確立	⑫ 環境に配慮した都市基盤整備	⑫ 公共下水道の整備	
⑬ 海外進出に際しての環境配慮	⑬ 環境マネジメントシステムの確立	⑬ 環境に配慮した都市基盤整備	⑬ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
⑭ 海外進出に際しての環境配慮	⑭ 環境マネジメントシステムの確立	⑭ 環境に配慮した都市基盤整備	⑭ 公共下水道の整備	
⑮ 海外進出に際しての環境配慮	⑮ 環境マネジメントシステムの確立	⑮ 環境に配慮した都市基盤整備	⑮ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
⑯ 海外進出に際しての環境配慮	⑯ 環境マネジメントシステムの確立	⑯ 環境に配慮した都市基盤整備	⑯ 公共下水道の整備	
⑰ 海外進出に際しての環境配慮	⑰ 環境マネジメントシステムの確立	⑰ 環境に配慮した都市基盤整備	⑰ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
⑱ 海外進出に際しての環境配慮	⑱ 環境マネジメントシステムの確立	⑱ 環境に配慮した都市基盤整備	⑱ 公共下水道の整備	
⑲ 海外進出に際しての環境配慮	⑲ 環境マネジメントシステムの確立	⑲ 環境に配慮した都市基盤整備	⑲ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
⑳ 海外進出に際しての環境配慮	⑳ 環境マネジメントシステムの確立	⑳ 環境に配慮した都市基盤整備	⑳ 公共下水道の整備	
㉑ 海外進出に際しての環境配慮	㉑ 環境マネジメントシステムの確立	㉑ 環境に配慮した都市基盤整備	㉑ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㉒ 海外進出に際しての環境配慮	㉒ 環境マネジメントシステムの確立	㉒ 環境に配慮した都市基盤整備	㉒ 公共下水道の整備	
㉓ 海外進出に際しての環境配慮	㉓ 環境マネジメントシステムの確立	㉓ 環境に配慮した都市基盤整備	㉓ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㉔ 海外進出に際しての環境配慮	㉔ 環境マネジメントシステムの確立	㉔ 環境に配慮した都市基盤整備	㉔ 公共下水道の整備	
㉕ 海外進出に際しての環境配慮	㉕ 環境マネジメントシステムの確立	㉕ 環境に配慮した都市基盤整備	㉕ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㉖ 海外進出に際しての環境配慮	㉖ 環境マネジメントシステムの確立	㉖ 環境に配慮した都市基盤整備	㉖ 公共下水道の整備	
㉗ 海外進出に際しての環境配慮	㉗ 環境マネジメントシステムの確立	㉗ 環境に配慮した都市基盤整備	㉗ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㉘ 海外進出に際しての環境配慮	㉘ 環境マネジメントシステムの確立	㉘ 環境に配慮した都市基盤整備	㉘ 公共下水道の整備	
㉙ 海外進出に際しての環境配慮	㉙ 環境マネジメントシステムの確立	㉙ 環境に配慮した都市基盤整備	㉙ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㉚ 海外進出に際しての環境配慮	㉚ 環境マネジメントシステムの確立	㉚ 環境に配慮した都市基盤整備	㉚ 公共下水道の整備	
㉛ 海外進出に際しての環境配慮	㉛ 環境マネジメントシステムの確立	㉛ 環境に配慮した都市基盤整備	㉛ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㉜ 海外進出に際しての環境配慮	㉜ 環境マネジメントシステムの確立	㉜ 環境に配慮した都市基盤整備	㉜ 公共下水道の整備	
㉝ 海外進出に際しての環境配慮	㉝ 環境マネジメントシステムの確立	㉝ 環境に配慮した都市基盤整備	㉝ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㉞ 海外進出に際しての環境配慮	㉞ 環境マネジメントシステムの確立	㉞ 環境に配慮した都市基盤整備	㉞ 公共下水道の整備	
㉟ 海外進出に際しての環境配慮	㉟ 環境マネジメントシステムの確立	㉟ 環境に配慮した都市基盤整備	㉟ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㊱ 海外進出に際しての環境配慮	㊱ 環境マネジメントシステムの確立	㊱ 環境に配慮した都市基盤整備	㊱ 公共下水道の整備	
㊲ 海外進出に際しての環境配慮	㊲ 環境マネジメントシステムの確立	㊲ 環境に配慮した都市基盤整備	㊲ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㊳ 海外進出に際しての環境配慮	㊳ 環境マネジメントシステムの確立	㊳ 環境に配慮した都市基盤整備	㊳ 公共下水道の整備	
㊴ 海外進出に際しての環境配慮	㊴ 環境マネジメントシステムの確立	㊴ 環境に配慮した都市基盤整備	㊴ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㊵ 海外進出に際しての環境配慮	㊵ 環境マネジメントシステムの確立	㊵ 環境に配慮した都市基盤整備	㊵ 公共下水道の整備	
㊶ 海外進出に際しての環境配慮	㊶ 環境マネジメントシステムの確立	㊶ 環境に配慮した都市基盤整備	㊶ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㊷ 海外進出に際しての環境配慮	㊷ 環境マネジメントシステムの確立	㊷ 環境に配慮した都市基盤整備	㊷ 公共下水道の整備	
㊸ 海外進出に際しての環境配慮	㊸ 環境マネジメントシステムの確立	㊸ 環境に配慮した都市基盤整備	㊸ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㊹ 海外進出に際しての環境配慮	㊹ 環境マネジメントシステムの確立	㊹ 環境に配慮した都市基盤整備	㊹ 公共下水道の整備	
㊺ 海外進出に際しての環境配慮	㊺ 環境マネジメントシステムの確立	㊺ 環境に配慮した都市基盤整備	㊺ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㊻ 海外進出に際しての環境配慮	㊻ 環境マネジメントシステムの確立	㊻ 環境に配慮した都市基盤整備	㊻ 公共下水道の整備	
㊼ 海外進出に際しての環境配慮	㊼ 環境マネジメントシステムの確立	㊼ 環境に配慮した都市基盤整備	㊼ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㊽ 海外進出に際しての環境配慮	㊽ 環境マネジメントシステムの確立	㊽ 環境に配慮した都市基盤整備	㊽ 公共下水道の整備	
㊾ 海外進出に際しての環境配慮	㊾ 環境マネジメントシステムの確立	㊾ 環境に配慮した都市基盤整備	㊾ 緑地の公有化、自然緑地保全地域の指定、生垣の保存と設置、農薬使用の削減、水たまりのこみこみ整備、出生記念樹の贈呈	
㊿ 海外進出に際しての環境配慮	㊿ 環境マネジメントシステムの確立	㊿ 環境に配慮した都市基盤整備	㊿ 公共下水道の整備	



# 環境学習

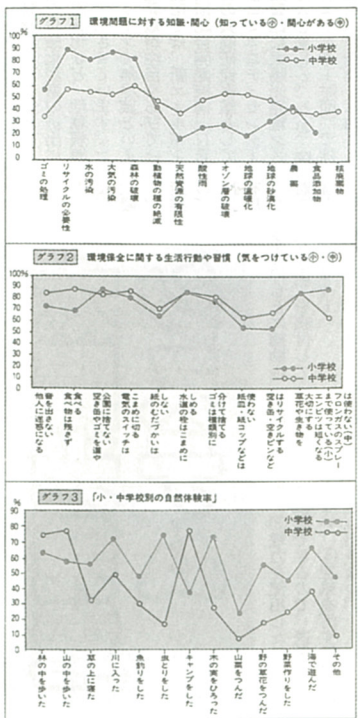
## 1 学校教育における環境学習

緊急の課題である環境保護については、教育界においても環境教育に関するいろいろな提言や実践が試みられていますが、義務教育における現教育課程には環境科は設定されておらず、各教科・道徳・特別活動の中で環境に関する学習が行なわれています。

海老名市教育センターにおいては、市内小中学校児童・生徒にどのような環境教育を行い、またどのような資質を育成したらよいか等を市教育委員会指導室と呼応しながら研究をすすめています。

(1)平成5年度：環境に関するアンケート調査  
市内各小中学校児童(第4学年の1学級)と市内各中学校生徒(第2学年)の1学級を対象に、アンケート調査を実施しました(グラフ参照)。

調査結果を総括しますと、次のとおりでした。



## 2 消費者の環境学習

環境保全に関する生活行動や習慣の形成はおおむね良好であった。

環境問題に対する関心や知識は、環境保全に関する生活行動に比べ、悪い結果となつてい

る。自然に対する体験が、非常に乏しい。

身近に存在する環境事象に対しては良い結果を示すが、身近な生活圏を離れて広範に及ぶ事象等に対しては悪い結果となつて

いる。

(2)平成6年度：特別活動に環境学習を取り入れて

環境保全について大切なことは、児童・生徒が日々の生活や習俗の中で自分を取り巻く環境がとれるか、さらにその生活行動を地球環境の問題や保全と関連づけて考えることができるか、にあると思われま

す。この点から、郷土愛を考慮し、そこで個人や集団の実践活動をもとに特別活動を選び、その学習の中で私たちが身近に行なわれている海老名

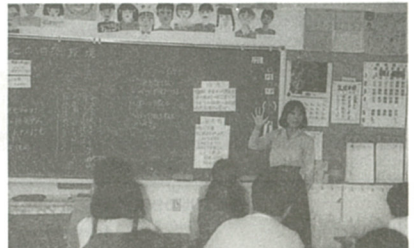
市の環境保全施策を教材化して児童・生徒に紹介し、児童・生徒が実践する活動や学習を通して、次の目的を考えた。

●児童・生徒が、郷土に関心をもち、郷土に対する愛を深め、各自が環境保全の行為を実践することを通して市民を自覚し、郷土に誇りを抱く。●日常の生活や行動が環境問題や保全とどのように関連し、どのような意味をもっているかを学習し、利己的な心や行為から自分を変革することができ

る。●自然のすばらしさに接し、親しみを深め、環境にやさしい心を育む自然体験を目指す。●毎日の生活を支えている目に見えない営みや自然の営みに対する理解を深める。

(ア)小中学校第6学年の日光修学旅行実施後の授業「日光の自然の美を味わう」とも日光の地で進む自然破壊やそれに対する保全の努力、及び海老名市でも同じよう行なわれている環境保全施策を理解し、環境保全に必要な要素(広域性、同時性など)を学習した。(イ)中学校第1学年の文化祭時に大量に排出するゴミ処理の授業。環境保全に留意した適切なゴミ処理の方法や処理の流れを理解し実践した。資源分別回収などの市の施策に関心を抱くことができた。そして、この処理活動

は学級から全校へ発展していった。



小学校での環境学習風景

△参加方法 1つのクラブは小中学生の数から20人程度の仲間

間で設立します。各クラブには、環境に熱心で高い識見を持つ「サポーター(大人)」を置きます。地域事務局に置いてある申し込み用紙で登録します。

△活動内容 ①各クラブのメンバーが自ら活動内容を決めて自主的に行なう活動。②全国どこでもエコクラブ事務局から提案する活動。

△支援内容 ①会員グッズの配布。②会員バッジ・会員手帳。③エコクラブ憲章、活動案内

④エコクラブの取組みが報告されま

す。⑤活動発表会の開催。エコ

クラブの自主活動の発表会です。

△各地域での開催。その後3月頃

に全国大会が東京で開催されます。

④GLOBEプログラムへの参加。世界中の子供たちとともに、地球環境観測を行な

い、そのデータをインターネットを通じて科学者などに提供す

## 子どもエコクラブ

### 会員募集

「このままじゃ、いけない!」「地球にやさしくしよう!」でも、何から始めればいいの?」「どうして何ができるの?」「どうして君たち、子どもエコクラブは、そんな君たちを待っている。みどり君を残すためにもアースレンジャーになろう!」子どもエコクラブに入会してくれた君たちには、会員手帳と会員バッジ、ニュースレターなどももらえるよ。



子どもエコクラブの会員グッズ

## 環境保全に関する団体等の取り組み

市内には、環境保全に関する取り組みを行っているさまざまな団体があります。その一例を紹介します。

●フリーマーケット  
地球環境問題解決への活動及び個人生活意識の改善を目的として、海老名ライオンズクラブ、(社)海老名青年会議所、国際ソフチスト海老名、海老名ロータリークラブ、海老名飛鳥ライオンズクラブの5団体により運営されている。毎年1回(11月3日、文化の日)に市役所駐車場を使ってフリーマーケットを開催(市共催)している。

●上今泉商店会  
地域住民のイベントとして毎年5月下旬頃、上今泉3丁目広場において家庭内の不用品のリサイクルの場を提供するフリーマーケットを開催しており、今年で3年目を迎えた。

●青少年健全育成連絡協議会及び小中学校  
「青少年の社会参加と奉仕活動の推進」の一環として、小中学校の児童生徒及びPTAを中心に学区内通学路の清掃を実施している。清掃の際は、アルミ缶、スチール缶、紙類、ビニール類、ガラスびん等をわけて分別収集し、リサイクルに役立てている。

●海老名飛鳥ライオンズクラブ  
「住みよき地域を次の世代に残す」我々が今できることとの発想から、環境保全委員会を中心として、「飛鳥デー」の名称で海老名中央公園の清掃や相模川の河川清掃に取り組んでいる。昨年は近隣の7つのライオンズクラブで合同相模川クリーン作戦を展開した。

●果実小売店組合海老名支部  
平成6年6月に、ビールメーカー制作のビデオ教材を市内13の小中学校に1巻ずつ寄贈した。教材は、資源ごみの空き缶に焦点を当て、リサイクルすることの大切さを理解してもらう内容のもので授業で見た児童からは、よく理解できたという声も寄せられた。また、商品の配達に合わせて空き缶を受け取り直接リサイクル業者へ処理委託したり、子ども会の活動時期には、集めた空き缶を渡して活動に協力している。

●高座地区河川をきれいにする会  
相模川、目久尻川、鳩川、永池川、小出川及び曹川等の水質保全及び環境の維持向上に努めることを目的として、高座地区に所在する工場等で組織された会である。活動として、海老名駅周辺での河川美化キャンペーンをはじめ、7月に相模川において河川パトロール及び糞等の雑魚の放流を実施している。

●えびな消費者の会(消費生活センターのOB会)  
会員で台所の三角コーナーに古ストックングを利用して、生活排水対策を行っている。また、国民生活センター主催の全国消費者フォーラムで水環境問題の研究発表をして好評を得た。平成7年4月に会員でトレイ回収を行い、アンケート調査結果をみんなの消費生活誌で発表した。

●海老名天文同好会  
身近な方法として大気の観測活動を行うことにより、大気環境に対する国民の関心を深めることを目的として、全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)が実施されているが市内では海老名天文同好会が夏期と冬期にそれぞれ星空観察活動を実施している。



河川美化キャンペーンでの雑魚放流



中学校での分別収集

●みどりに関する取り組み

●海老名市商工会  
毎年6月10日の商工会の日に事務所前で花の種を配布している。